



外国出張報告書

平成 27 年 1 月 24 日

1. 出張国名 ブラジル、パラグアイ、メキシコ、アルゼンチン
2. 出張月 平成 26 年 8 月～12 月
3. 出張目的 ダイズさび病の変異に関する試験の実施等及び JICA 受託業務：B

4. 成果の概要

ブラジルの Embrapa 大豆研究所で 2013/14 年作期に南米 3 か国で採集したダイズさび病菌の病原性変異について解析し、抵抗性遺伝子集積系統の効果を確かめる試験を開始した。ブラジルのフォスドイグアス市で JIRCAS のダイズさび病プロジェクトに関する年次検討会を開催した。

パラグアイでは Nikkei-Cetapar を訪問し、ダイズさび病抵抗性遺伝子集積系統の育成状況の確認を行った。また、パラグアイのカピタンミランダ研究センターを訪問し、研究の進捗状況の確認を行った。

アルゼンチンでは、JICA 受託業務に関しては、INTA-Castelar の微生物研究所、INTA-EEA Marcos Juárez、INTA-EEA Oliveros で生物防除資材の評価を行った。また、INTA-EEA Pergamino を訪問し、今後の共同研究について論議した。

メキシコの INIFAP の Las Huastecas 試験場を訪問し、南米における JIRCAS のダイズさび病の共同研究について紹介し、INIFAP との共同研究の可能性について論議した。